

自治体 あいちの仲間

発行所 自治労連愛知県本部 名古屋市北区柳原三丁目7番8号
 U R L http://www.jaichi.jp TEL(052)916-2251
 Eメール info@jaichi.jp FAX(052)916-2308

2020.12.10 No.1236

発行責任者 林 達也 定価10円
 組合員の購読料は組合費の中に含まれています

県本部 126回臨時大会

日時：2021年1月16日(土) 13:30~
 場所：日本ガイシフォーラム レセプションホール(笠寺)

たたかいは秋から春へ！

春闘へつなぐ、つなげる

20賃金確定闘争では、コロナ禍でも住民のいのちと生活を守るため、文字通り大奮闘している自治体職員に対して、一時金削減は許せないと粘り強く運動と交渉を続けてきました。

そうした中で会計年度任用職員の今年度中の一時金削減をストップさせたり、手当の増額の回答などを引き出しています。また、さらに要求前進をめざして、運動に足を踏み出しています。

長時間労働や残業代不払い解消にむけては、この間、主に保育の現場で自治体側から通知を出させるなどの成果をあげています。

蟹江町職労では、当局が把握している保育士の残業時間が、実際とは大きく乖離しています。これは各園所長ごとの認識の違いなどで、残業申請ができる業務にばらつきがあるためです。組合では時間外業務を明記した通知を出すよう要求し、「前向きな検討をしていく」と当局から回答を引き出しています。

長久手市職労では、保育現場だけではなく、本庁職場も含め時間外業務を明記した通知を出すよう当局から明言させています。今後は通知の内容について当局と話し合いを重ね、不払い残業根絶に向けて、実効ある対応を求めていきます。

また、この冬から来年の春闘に向け、要求を改めて確認し合うことが重要です。東三河労連では春闘学習会を2月頃に、豊橋市職労でも組合学習会を本庁の新人を中心に実施する予定です。

この秋の取り組みは、いくつかの前進を作り出していますが、一方で、解決していない問題や、さらに改善が必要な課題もたくさんあります。各単組で引き続き粘り強く取り組みを進め、2021年国民春闘に取り組みをつなげ、要求実現をめざします。

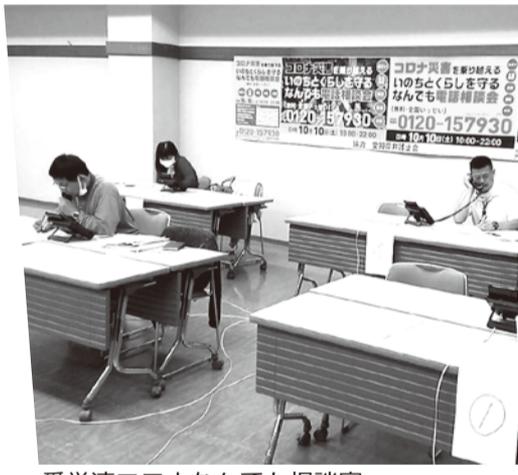
「春闘」は、1955年に始まりました。1973~74年の春闘は、インフレ阻止、物価値上げ反対など、くらしの要求を掲げる「国民春闘」となり、大幅な賃上げと年金制度の改善を勝ち取りました。

愛知県本部は、2021年1月16日、国民春闘臨時大会を開催します。コロナだからと委縮せず、職場でグチや不満を出し合って、春闘時期から要求議論を活発にし、自治体側への要求提出に取り組みしましょう。

大企業には、このコロナ禍の中でも、巨額な内部留保(企業の税引き後の利益から株式配当などで支出される分を除き、会社のものとして蓄えられたもの)が積みあがっています。資本金10億円以上の大企業(金融保険業を除く)が2020年3月末時点で持っている利益剰余金(内部留保の主要な部分)は237兆円。国家予算の倍以上になっています。このほん



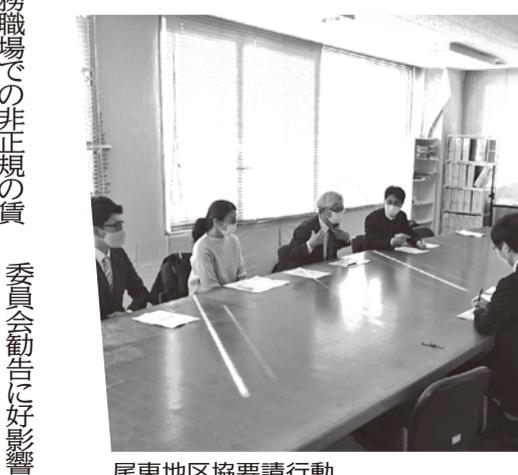
豊橋市職労団体交渉



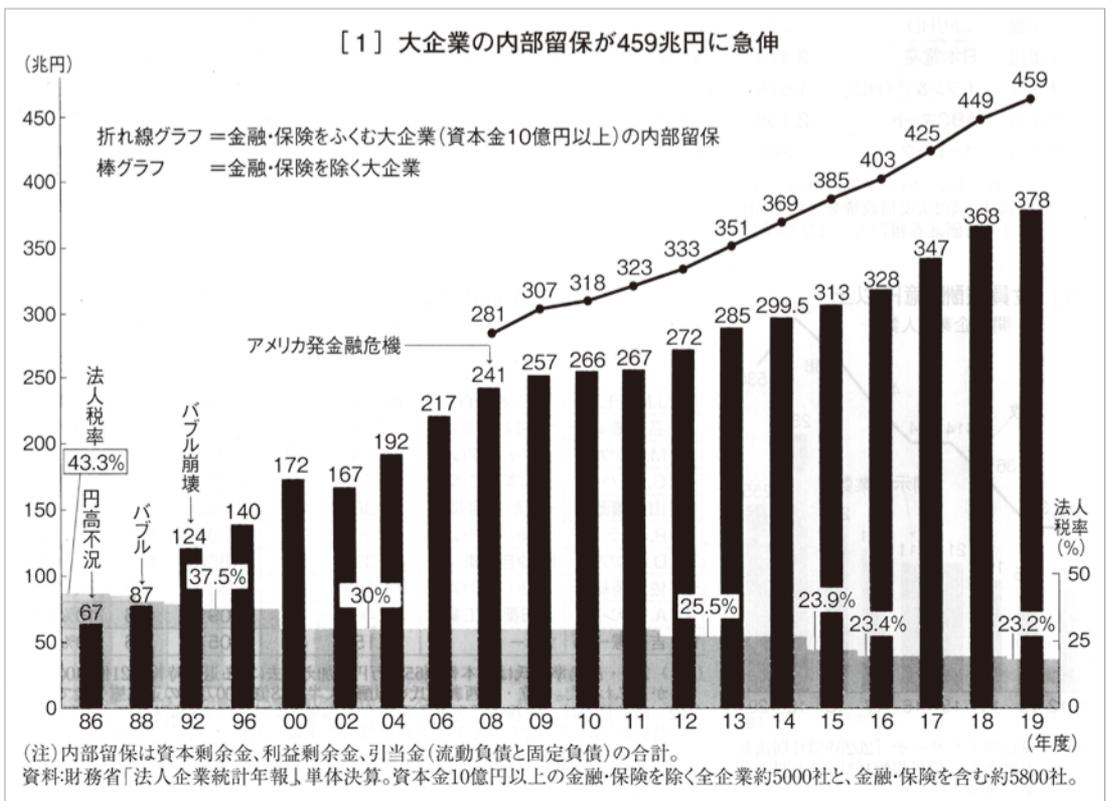
愛労連コロナなんでも相談室



11.19 地域総行動=熱田駅



尾東地区協要請行動



最低賃金引き上げは、公務員職場の非正規の賃金や正規職員の初任給に影響します。また、春闘で民間の賃金を引き上げるとは、人事院、人事委員会勧告に好影響を与えます。「コロナ禍だからこそ賃金引き上げを」公務も民間も共通の課題です。

